

連絡会ニュース

子どもと教育・くらしを守る広島県立学校教職員連絡会

No.1303 2024/09/19 (Thu)

発行 広島高校連絡会事務局

Email renraku-kuko@mx6.tiki.ne.jp

HP <http://ww6.tiki.ne.jp/~renraku-kuko/>

携帯 090-1180-7644 (村井義幸)

090-9738-8264 (望月照巳)

「学費値上げ反対！」の声を上げる学生たち ゆきとどいた教育を求める全国署名のスタート集会

8月31日(土)、14時より、島市東区区民文化センターで、「すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める

全国署名のスタート集会」が開かれました。その中で、広島大学文学部2年生の原田桂歩さんは、次のように学費値上げ反対の活動を報告しました。

「5月中旬に東京大学の授業料値上げの方針が明らかになり、広島大学でもその後「学費値上げ」の検討をするとの会見があり、こんなにも早いのかと思いました。

学生・教職員との対話なし、一方的な値上げ

広島大学では本質的な対話を経ず、2年間も秘密裏に検討されてきました。「学費の値上げ」は、教育格差の深刻化を招きかねません。最大の利害関係者は学生です。大学統治の改善を求めています。

「大学にカネを稼ぐことが求められるのなら、哲学のような問題解決の基礎となる学問は衰退してしまいます。基礎研究の軽視は、社会を貧しくします。」と訴えました。

6月の国会内集会にも参加

6月に国会内で開かれた集会にも参加し、大学関係者からも次のような意見が出たと紹介。「国立大学の教員は、法人化により教育公務員特例法の適用から外れ、『非公務員』となり、身分が不安定化した」「東大の今回の決定は、CFO(最高財務責任者) オフィスでなされたもので、全く公正な手続きは取られていない」など多くの問題点などが指摘された。



「より良いキャンパスライフを目指す会」立ち上げ

現在原田さんたちは、学費の問題だけでなく、よりよい大学生活の充実を目指して大学内に「よりよいキャンパスライフを目指す会」を立ち上げ、13名の仲間といっしょに活動しています。今重点的に取り組んでいる活動は、休日や長期休み中の開館時間が短くなり、十分な利用ができないため、「図書館の開館時間延長を求める請願書名」に取り組んでいます。このように大学生たちも自分たちの要求に基づいて、活動しています。

私たちが「ゆきとどいた教育を求めて」、署名活動に取り組んでいきましょう！

(望月 照巳)

▼改めて、統一協会(韓国の国際商況連合)と、安倍元首相が、参議院選挙に向けての対策会議を国会内で行っていたと、朝日新聞(9/18)が報じました▼裏金事件が、全派閥で行われてきたことで、事務方の告訴され有罪になっています。つまり、自民党ぐるみでのパーティー券を巡る裏金作りだったことも明白です▼自民党総裁選挙に出馬しているすべての候補は、裏金問題の全容解明には、一切触れません。更に、統一協会との問題も解決への意欲も全くありません▼一方、市民と野党の共闘に、展望はあるのでしょうか。立憲民主党の代表選挙で、どの候補者も共産党との積極的な共闘には、後ろ向きな姿勢が顕著です▼それは、財界と連合という二大スポンサーの意志によるものだからです。だからこそ、「共闘」せざるを得ない程の確かな勢力になることによって、具体的な力を示すことによってしか、解決できない事なのです。